

平成28年度

事業報告書

★事業の推進

乳幼児の保育・教育には、乳幼児を取り巻く社会環境を十分に考慮し、乳幼児の保育・教育の果たす使命の認識と実践の推進を図る。教職員の各種研修会に参加し資質の向上を図り、研修事業の充実を行う。同時に園内の施設設備の安全確保と維持管理の充実を行う。

★教育事業

①親子を取り巻く社会状況を考慮し、保護者の子育てを支援し、家庭における子供の育つ環境を充実させるための保護者教育を行った。

- イ) 年間を通して子育て教室（0～2歳対象）を開催した。
ロ) 5/22
- ハ) 2/22 親子で観劇（園児、保護者、未収園児親子）を楽しんだ。
- ニ) 子育て情報誌を発行（年3回）した。
- ホ) 親子の関係と愛着について（講師：西脇先生）
- ヘ) 歯の大切さと歯磨きの仕方学んだ。（講師：保健士さん）

②教職員の資質向上のために、各種研修会に参加。園内研修においては伝承遊びを通して、同年齢、異年令との交流を深め、人間関係を学ばせるための研修を行った。防災防犯に備え、知識の習得、判断、行動が起こせるように研修した。

- イ) 非常に備え、AED、人肺蘇生法講習他を行った。
- ロ) 交通教室を開催して、道路の歩き方、渡り方を学んだ。

③年間を通してお年寄り、親子、地域の人、友達との異年令交流を行った

- イ) 年間を通して親子の触れ合い活動を実施した。
- ロ) 年間を通してデイサービス施設（ココくらぶ）を訪問・交流（年長組）、朝市に出かけ、物の売買を学ぶとともに、地域の人と触れ合う機会を持った。
- ハ) 11/11 移動動物園にて、動物との触れ合いを楽しんだ。

④子供たちに日本文化を伝承するため、また指先を使い脳を活性化するような伝統的な遊び、行事を取り入れた。

- イ) あや取り、かるた、こま他の昔からの遊びを行った。

⑤野菜の種蒔き・苗つけから収穫までの作業を通して、植物の一生を学ぶことにより育てるこの難しさと、自然の厳しさを学んでいる。そして畑作業の大人と交流を深めている。また種、若芽を鳥から如何に守るかを学んでいる。

⑥年間を通して絵本を見たり、専門家の素話や読み聞かせを楽しんだ。

⑦平成27年4月より施行される子ども・子育て支援新制度に伴う、幼保連携型認

定こども園の運営管理について研修会、勉強会に出席し、浜松市保育課と話し合いを行った。

⑧カウンセリングの先生を招き、毎月保護者の教育相談を行った。

⑨教職員の資質向上のため、教職員の園内研修、園外研修に参加した。

★施設設備事業

①西棟4教室の床（木製）が痛んできたため補修、ワックス掛けを実施した。

②遊具の修理を行い安全管理に努めた。

③4月より制度変更に伴い委託バスは取りやめ、普通車（園児用）を購入、新制度に伴い全給食実施のために厨房機器、食器の購入、登降園の管理が難しくなるためシステムの導入を行った。

★安全管理事業

①災害時に備え、年間を通して多様な訓練を行った。

②東海沖地震に備え飲料水・食料の補充を行った。

③防災防犯に備え、研修を通して安全管理に対する一層の意識を図った。

④自然災害に備え、教職員の防災教育・訓練を行った。

*備品の備蓄、蛍光灯のフィルム貼りの必要があるが、不十分であるので次年度の事業に加える。

会計報告
平成28年度(平成29年3月31日現在)

学校法人 頭陀寺学園
すだじこども園

財産目録

科 目	金 額
I 資産額	
基本財産	1,244,638,995
運用財産	242,910,090
資産の部合計	1,487,549,085
II 負債額	
固定負債	583,851,996
流動負債	157,550,439
負債の部合計	741,402,435
III 正味財産	746,146,650

貸借対照表

科 目	金 額
資産の部	
I 固定資産	1,244,638,995
II 流動資産	242,910,090
合 計	1,487,549,085
負債の部	
I 負債	741,402,435
II 基本金	945,747,587
III 純資産の部合計	△ 199,600,937
合 計	1,487,549,085

資金収支計算書

科 目	金 額
収入の部	
学生生徒納付金	78,714,070
補助金収入	302,977,690
資産運用収入	27,544
事業収入	13,386,806
雑収入	752,683
借入金等収入	585,500,000
その他の収入	12,584,327
資金収入調整勘定	-168,060,727
前年度繰越金	87,725,569
収入の部合計	913,607,962

科 目	金 額
支出の部	
人件費	137,600,236
経費	47,249,547
借入金等利息	4,517,567
借入金等返済	318,724,000
施設設備関係支出	460,635,281
資産運用支出	3,298,086
その他の支出	8,858,691
資金支出調整勘定	△ 132,753,133
次年度繰越支払資金	65,477,687
支出の部合計	913,607,962

事業活動収支計算書

科 目	金 額
教育活動収入の部	
学生生徒納付金	78,714,070
補助金収入	149,196,690
事業収入	13,386,806
雑収入	752,683
教育活動収入計	242,050,249
教育活動支出の部	
人件費	137,600,236
経費	78,020,479
教育活動支出計	215,620,715
教育活動収支差額	26,429,534
事業活動収入の部	
その他の受取利息・配当金	27,544
教育活動外収入計	27,544
事業活動支出の部	
借入金利息	4,517,567
教育活動外支出計	4,517,567
特別収入の部	
施設設備補助金	153,781,000
特別収入計	153,781,000
基本金組入前当年度収支差額	175,720,511
基本金組入額合計	△ 183,733,281
当年度収支差額	△ 8,012,770
前年度繰越収支差額	△ 191,588,167
翌年度繰越収支差額	△ 199,600,937
事業活動収入計	167,195,350
事業活動支出計	142,117,803

平成29年5月26日

監査報告書

(学) 頭陀寺学園

評議員会様

(学) 頭陀寺学園

監事 平野國行
監事 大石敏彦

私たちは、(学) 頭陀寺学園の監事として、平成28年度（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）における財産目録及び計算書類（収支計算書、貸借対照表、及び付属明細表）を含め、学校法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。

監査の結果、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録及び計算書類は会計帳簿と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、不正の行為又は法令若しくは寄付行為に違反する重大な事実は無いものと認めます。

平成29年5月26日

監査報告書

(学) 頭陀寺学園

理事会様

(学) 頭陀寺学園

監事 平野國行 印
監事 入江義道 印

私たちは、(学) 頭陀寺学園の監事として、平成28年度（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）における財産目録及び計算書類（収支計算書、貸借対照表、及び付属明細表）を含め、学校法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。

監査の結果、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録及び計算書類は会計帳簿と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、不正の行為又は法令若しくは寄付行為に違反する重大な事実は無いものと認めます。

平成28年度 すだじこども園の教育活動に対する学校評価まとめ

(1) 教育目標

明るくたくましく賢い子の育成

(2) 今年度の重点目標(学校評価の具体的な目標や計画)

- ・教師として自ら進んで努力、研究を重ね自己研鑽に励む。
- ・地域の環境を利用し、子どもに合った保育を進める。

(3) 自己評価及び学校関係者評価

評価対象	評価内容	自己評価		学校関係者評価委員会の意見	評価
		園としての反省と改善策	評価		
①保育の計画性	・教育要領を理解し、園の教育理念・方針に沿って教育計画を立案し、園児の実情に合わせて環境を整え、実施、反省を加える。	教育保育要領となり養護に関する部分の立案が一律では補いきれない現実がある。職員全体の共通理解を強化した。	B	季節を感じられる行事が多く、子どもたちがいかに楽しく生活し、成長できるかを継続的に考えている。	A
②保育のあり方、子どもの対応	・子どもの状態を把握し、健康・安全面に配慮し、遊びを通して子ども達が育ち合うことを願い、援助について意見交換を図った。個々の対応が必要な子も多いが丁寧に対応した。	遊びを通して子ども達が育ち合うことを願い、援助について意見交換を図った。個々の対応が必要な子も多いが丁寧に対応した。	A	クラスに限らず、全体会の子ども達一人一人を受容し、よく指導している。	A
③保育者の能力や良識と適正	・プロとしての能力と行動、態度を持つと共に、仲間と話し合い、自分を高める努力をする。	常に子どもへの対応に心を配り、互いに情報交換を行い、全体会への力を結びつけた。	A	保育者の対応する姿が、専門家としての自信に裏付けられている。	A
④保護者への対応	・教室、園児の状況を保護者に伝えると共に教師としての良識を守り、保護者に接する。	生活リズムの乱れや心のバランスを崩しがちな親子を支え、面談を重ねた。また全体会には子育てメッセージを配布し教える機会をつくった。	A	保護者と密接な関係を築き、努力していることが感じられる。	A
⑤地域社会との関わり	・地域の人や文化を理解すると共に、人々に親しみをもつて接し、地域の活動に参加する。	朝夕の散歩や畠活動、また年長のデイサービス施設への訪問を当して、心の交流を図った。	B	今後地域社会との関わりは益々求められる。これからも地域の行事等に参加し、地域力をつけて欲しい。	A
総合的考察	子ども達のために教職員が一丸となっている様子があり感心した。今後も子ども達が生き生き輝く園づくりに努めてほしい。				A

平成29年 1月20日
すだじこども園園長 鈴木重道
学校関係者評価委員代表 玉木恵美子